

## 令和7年度 幼稚園経営方針

中央区立有馬幼稚園  
園長 高橋 育子

令和7年度は、3歳児2学級4歳児2学級5歳児2学級の計6学級となり、昨年と比較して園児数は少し減少して全園で77名、学級定員の法律改正により、1学級増でのスタートです。

今年度よりすくわくプログラムの取り組みが始まり、預かり保育も18時に延長され幼児教育に対しての行政のバックアップも、さらに充実してもらっています。このエールを力として、幼児教育が生涯教育・生きる力の基礎となることを、保護者や他校種・地域の方々にも、実践を通して伝えるとともに、さらに保育の質の向上を全員で目指していきましょう。

また、今年度は、幼稚園80周年にあたる周年の一年間です。80年間を振り返り幼稚園の歴史を積み重ねてくれた方々、そして現在も幼稚園を見守ってくださっている地域の方々に感謝の気持ちをもちながら、様々な表現での周年のお祝いの取り組みをしていきます。新しい先生方をお迎えし、さらにパワーアップする幼稚園です。一人一人のよさを発揮して、子どもたちのためにがんばっていきましょう。

### 1 本園の教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身ともに健康で、主体的に行動し、社会性を身に付け、生きる力の基礎の育成を目指して、次の目標を設定する。

『個性と社会性が調和して育つ有馬の子』

- かんがえる子      ○ やさしい子      ○ たくましい子

### 2 本年度の経営の視点

#### 今年の園経営・学級経営の視点

- 幼児が健康で安心・安全な生活を保障するための危機管理を徹底する。
- 幼児、保護者、教師が幼稚園生活を楽しむための保育の充実を図り、その実践を伝える方策を工夫する。
- 一年を通して周年を祝う気持ちを、様々な方法で幼児や保護者とともに表現する。

### 3 今年度の目標

今年度は80周年。そしてこの地域ならではの神田祭りも行われる他、盆踊り、餅つき大会など様々な行事があります。この機会を生かし、保護者とつながる、小学校や地域とつながることを意識しながら、幼稚園教育を進めていきましょう。また、今まで諸先輩方が築き上げた伝統を受け継ぎながらも、今このメンバーだから出来る新たな取り組みにチャレンジして、新たな80周年目の歴史をつくっていきましょう。

人と人とのつながりを大切に  
楽しい幼稚園づくりを推進する。

#### ○幼児にとって毎日来ることが楽しい幼稚園

- ・幼児が安心して自分を出し、遊び込むことの楽しさを感じられるようにする。

#### ○幼稚園とわが子の成長を共に喜び、かけがえのない日々を楽しむ保護者

- ・80周年への取り組みやお子さんたちとの日々の関わりを通して、保護者のみなさんが、一緒に幼稚園生活を楽しめるようにする。

#### ○保育が楽しい幼稚園

- ・幼児ともに、日々楽しい生活や遊びを展開する保育を目指す。そのために、全教職員が日頃より声を掛け合い、必要に応じて学級、学年を超えた協力体制をつくる。
- ・自ら学び続ける姿勢をもつとともに、教職員一人一人が自分のもつ力を最大限に発揮する。

## 4 幼稚園経営の基本方針

### 【安全・安心を担保する】

- ・自然災害や事故、伝染病の大流行など、予測できない事象が起こる可能性を鑑み、危機管理の徹底を図る。
- ・日常的な安全確認・危険を予測すること・幼児の心身の状況把握を常に心がける。

### 【インクルーシブ教育の推進（みんなちがってみんないい）】（特別支援・人権）

- ・一人一人の人権を大切に。幼児それぞれの成長課題があり、不具合を感じる箇所は人それぞれ。一人の幼児に決まった見方でいつも教師が接していると、学級の幼児も同じような目で見がちで危険性があることを念頭に。
- ・支援を要する幼児が安心して過ごせる学級（居場所）づくりを目指す。
- ・今年度から、全職員対象に、区で特別支援の研修会が行われる。自分が学びたいテーマを選び、積極的に参加する。
- ・教育相談の先生や青海特別支援学校の先生などの専門家や専門機関との連携を推進する。

### 【公立幼稚園としての役割を意識する】

- 保幼小の連携日を生かす
- 幼稚園教育の（他校種・保護者・地域への）発信
- 幼稚園の地域のセンター的な役割を果たす  
（未就園児体験保育・預かりとの連携・地域の行事に触れる）
- 幼児教育に対する理解を深める
  - ・質の高い教育を目指す（研修への積極的な参加）
  - ・小学校への幼稚園からのアプローチを
  - ・保護者へ様々な方法で、理解を図る
- 小学生との交流を通して、互惠性のある関わりがもてるようにする。

### 【効率的な働き方を】

- ・会議の時間短縮（事前の周知を図る）
- ・朝や保育後等、日常的な保育情報の共有  
PDCA サイクルの中で、本日の保育に基づく環境の再構成、教材準備に重点を。
- ・自身を豊かにする時間を

### 【ICTの活用と絵本や視聴覚教材の充実】

- ・互いに情報共有を図りながら、様々な使い方を
- ・絵本の世界を広げる関わりを大切に。  
昨年度、図書館の絵本の貸し出しで、より世界が広がった。また、ひだまりの会やリプリントさん等のボランティアの経験も大切にする。
- ・保護者向けの「けろちゃん文庫」も内容を充実させていく。

### 【保育環境の充実】

- ・今年から「すくわくプログラム」が実施される。幼児の「なんだろう。やってみよう。わかった。もっとやってみよう。」という姿が次々と出てくる環境づくりを心掛ける。

### 【楽しい研究を目指す】

- ・互いにアイデアや考えを出し合いながら
- ・研究を日常の保育の中に織り込ませる

### 【自然との関わり】

- ・有馬ガーデンの有効活用。周年の年でもあるので、特に栽培物にも力を入れる。
- ・栽培、収穫、会食の流れを昨年同様大切に、食育の観点を意識しながら行う。

### 【風通しのよい職員室】

- ・保育の中で楽しかったこと、うれしかったこと、困ったこと、悩んでいることを一人で抱え込まずに、みんなで共有する。
- ・園務分掌の担当が声を掛け、全員で取り組む気持ちをもつ。

### 【80周年の取り組み】

- ・互いにアイデアを出し合い、「幼稚園の誕生会」の取り組みを通して幼稚園に対しての親しみや、幼稚園や自分たちを支えてくれている周囲の人たちに、感謝の気持ちを感じられる周年にする。

自身の立ち位置で、子どもたちのために何ができるかをモットーに、互いに協力し合って「楽しい幼稚園」をつくっていきましょう。